

解剖学

講師	小山田 常一	実施時期 単位数	第1学年前期 2単位 (30時間)	実務経験	○
一般目標 (GIO)	人体の成り立ちを理解するために、身体の構造と機能、組織発生に関する基本的知識を習得する。				
授業概要	ヒトの体の構造および機能について教授する。基本的に系統別に授業を行うが、適宜局所解剖の観点からの説明を行う。				
学習方法	講義・DVD視聴				
成績評価の方法	定期試験、出席状況等により総合的に評価する。 筆記試験90%、出席状況10%				
教科書	全国歯科衛生士教育協議会(監) 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能1「解剖学・組織発生学・生理学」医歯薬出版				
履修上の注意	口腔解剖学、さらには他の多くの科目を学ぶ上で基礎となる科目である。 積極的な質問・議論を通して十分な理解が望まれる。				
参考書	分担解剖学(金原出版)、解剖学カラーアトラス(医学書院) 全国歯科衛生士教育協議会(監) 歯科衛生士学シリーズ 歯・口腔の構造と機能「口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」医歯薬出版				
実務経験のある教員 (概要、科目との関連性)	臨床現場での歯科医師の経験を活かしながら、全身の中の口腔という観点から全身の運動器系、循環器系、神経系、内臓系に関して講義を行う。				

授業計画

No.	授業項目	到達目標 (SBOs)
1	解剖学総論	身体の部位を解剖学的な名称で表現できる。身体の方角用語を正確に用いることができる。
2	骨格系Ⅰ	骨の基本構造と連結様式を概説することができる。
3	骨格系Ⅱ	身体各部位の骨の名称とその連結様式を説明することができる1。
4	骨格系Ⅲ	身体各部位の骨の名称とその連結様式を説明することができる2。
5	筋系Ⅰ	筋の種類と特徴を説明することができる。
6	筋系Ⅱ	身体各部位の筋の名称とその作用を説明することができる。
7	消化器系	消化器の基本構造と機能を概説することができる。
8	循環器系Ⅰ	心臓の構造と機能を概説することができる。
9	循環器系Ⅱ	身体各部位の脈管の名称とその作用を説明することができる。
10	神経系Ⅰ	脳と脊髄の基本構造を概説することができる。
11	神経系Ⅱ	末梢神経の機能と分類を説明することができる1。
12	神経系Ⅲ	末梢神経の機能と分類を説明することができる2。
13	呼吸器系	呼吸器系の構造と機能を概説することができる。
14	内分泌系	内分泌系の基本構造を概説することができる。
15	生殖器系、まとめ	生殖器系を概説することができる。